

基本方針 3 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備

- 地域の身近な情報拠点として、図書館の機能を強化するとともに、学習支援や情報収集・活用能力の向上を支援するなど、全ての人が生涯にわたる学びを深め、学び合う機会に出会える活動の場としての役割も果たしていきます。
- 子どもから大人まで生涯にわたる学習を支える場である図書館として、市民が本を楽しめる場を提供するだけでなく、レファレンス機能を向上させ、利用者同士の情報交換の場としての活用を進めるなど、課題解決の支援や人と人とのつながりを支援する機能をさらに強化していきます。

(1) 全ての市民の課題解決を支援する

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
22	市民の身近な課題解決の支援	<p>働く世代の知的好奇心を刺激するような選書や図書展示を通じて、豊かな社会生活を営むための暮らしや仕事に役立つ資料・情報の提供など、市民の抱える様々な個別の課題に寄り添い、人と人がつながり合うことを支え、身近な課題解決を支援していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な課題解決の支援 ○働く世代の学びの支援【新規】 ○テーマ別の図書展示の充実（再掲） ○課題解決に役立つ棚づくり（再掲）

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
23	レファレンス機能の更なる充実	<p>地域の課題解決の一助として、外部の専門機関と連携した情報提供やセミナー開催など、レファレンス機能の更なる充実に取り組みます。</p> <p>また、商用データベース⁵¹の利用促進やパスファインダー（調べもの案内）の更新、非来館型のサービス提供など、情報活用に関する機能の充実を図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○専門機関との協働による無料相談窓口の実施【新規】 ○レファレンスサービスの充実と利用促進

⁵¹ インターネットで提供されるデータベースシステム。中央図書館、図書・情報館で無料で使用できる。

未定稿

(2) 身近な地域の学びの場としての機能を強化する

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
24	市民の生涯にわたる学びの支援	<p>学びたいと思った市民がいつでも身近な地域で学んだり、学び合うことが出来る活動の場としての環境づくりのため、生涯学習センター⁵²を拠点とした「さっぽろ市民カレッジ⁵³」との連携や、地域イベント参加による図書館の役割のPRなど、学びを深めるという視点を重視した事業を展開し、市民の生涯にわたる学びを支援していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さっぽろ市民カレッジの充実【新規】 ○地域イベントへの参加検討【新規】 ○学校図書館の地域開放の推進（再掲） ○医療・保健分野の情報発信機能の強化【新規】(再掲)

(3) 地域の生涯学習と情報の拠点となることを目指す

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
25	地域の生涯学習拠点としての役割の検討 重点	<p>市民に身近で、学びを深めることのできる重要な施設として、今後も市民に読書活動の場を提供するとともに、学びの場としての情報拠点の機能の充実に取り組み、地域の生涯学習の拠点の役割を担うことができるよう、生涯学習振興財団と連携して、市民の新たな活動に取り組むきっかけや活動の場づくりに必要な検討や調査・研究を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の生涯学習の場としての地区図書館に関する調査・研究【新規】 ○他施設へのアウトリーチに関する調査・研究【新規】 ○図書館データベースのPR【新規】 ○行政情報の活用等に関する検討 ○働く世代の学びの支援【新規】(再掲) ○地域イベントへの参加検討【新規】(再掲) ○身近な課題解決の支援（再掲）

⁵² 幅広い分野にわたる各種講座の開講、学習成果の発表の場や各種研修施設の提供などの活動をとおして、市民のさまざまな生涯学習活動を支援する札幌市の施設。

⁵³ 市民に市民活動、産業・ビジネス、文化・教養などさまざまな分野での学習機会を提供する。年3期に分けて講座を開催。

基本方針 4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営

- 公共図書館はサービスを提供するだけでなく、市民が自由に情報にアクセスし、その情報に基づいて自らの在り方を決定したり、生活の向上に役立てることができる場所です。今後もそうした場であり続けられるよう社会情勢や市民ニーズに対応しながら、社会の変化を踏まえた効果的・効率的な図書館の管理運営手法を検討し、将来にわたって持続可能な図書館運営ができるよう環境整備を進めていきます。

(1) 将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
26	計画的な施設・設備の改修	老朽化した施設・設備の維持管理はもとより、利用者の安全・安心や今後の図書館サービス拡充への対応を見据えて、引き続き、施設のユニバーサルデザインを進めるとともに、施設・設備の改修を計画的に進めていきます。 ○図書館施設・設備の計画的な維持管理・改修

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
27	図書館サービスに関する市民との協働の検討	将来にわたって持続可能な図書館とするためには、市民との協働や市民参加を進め、図書館と市民の質の高い関係性を構築することが必要です。 このことから、引き続き、利用者から寄せられる要望・苦情の分析や利用者アンケートを実施するとともに、これまでの手法にとらわれず、図書館サービスの課題を市民と共有できるよう検討していきます。 ○満足度や評価についての調査の継続 ○地域住民の施設活用に関するニーズの調査研究【新規】 ○再利用図書の無償譲渡（再掲） ○寄附・寄贈募集手法の検討（再掲）

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
28	将来も継続できる図書館サービスの検討 重点	公共図書館はサービスを提供するだけでなく、地域住民が自らの在り方を見つけることができる場所です。このような可能性を持つ図書館の将来に向けたサービスの在り方に関する調査・研究を行うとともに、

未定稿

		<p>図書館を支えて行く広告の導入や市民からの寄附・寄贈の手法の見直しなど、図書館のサービスを継続的に安定して提供していけるような取組を検討していきます。</p> <p>○適切な資料取扱に関する啓発及び取組【新規】</p> <p>○広告導入についての検討【新規】</p> <p>○寄附・寄贈募集手法の検討</p> <p>○図書館の役割や在り方に関する調査・研究【新規】(再掲)</p>
--	--	--

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
29	図書館の意義の周知・浸透	<p>図書館では、サービスや魅力について理解していただけよう、ホームページをはじめ、「図書館だより」など広報印刷物の充実を図ってきましたが、図書館の意義等について、まだ十分に浸透したと言える状況にはありません。</p> <p>今後は、現在の広報手段にとどまらず、発信する情報の内容を工夫したり、それを受け取る方に適した広報媒体を選択することで、広報活動を充実させます。</p> <p>○図書館広報の充実</p> <p>○図書館の利用普及・連携事業の充実 (再掲)</p>

(2) 社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じた図書館サービスの検討を進める

NO.	方 策	内 容
		具体的事業
30	新たな時代の図書館サービスの検討	<p>情報化の急激な進歩、図書館サービスに対するニーズの多様化・高度化等の現状をしっかりと捉え、図書館のサービスを出来るだけ維持しながら「新しい時代の生活様式」などを踏まえ、市民が安心してご利用いただける図書館を目指していきます。</p> <p>○図書館における感染症対策の徹底【新規】</p> <p>○図書館電算システムの更新 (再掲)</p> <p>○サピエ図書館の登録者増加に向けた取組【新規】(再掲)</p> <p>○地域の生涯学習の場としての地区図書館に関する調査・研究【新規】(再掲)</p>